

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">バスケットボール</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">人間社1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">山田 貞子</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">PLAY SMART! (賢くプレーしよう!)</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>バスケットボール競技は、得失点後、プレーが止まることなく攻撃と防御が交互に連続的に行われ、その切り替えの速さとうまさが大切である。本授業では、攻撃や防御の基礎理論を理解し、攻防が向かい合った状況下で競り合いを楽しめる技能の向上をめざす。また、将来、体育の教員や社会体育指導者をめざす学生に対しても指導に関する共通理解として、基本的なバスケットボール技術の習得をねらいとするものである。後期にはコンビネーションプレイを発展させてゲームを行い、習熟度に応じて意図した戦術の遂行に取り組むことでチームワークについても理解を深めたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">テスト・実技・出席点・受講態度の総合評価</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">プリント配布</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">バスケットボール指導全書</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">吉井四郎</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">大修館</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (履修上の諸注意等、授業内容およびスケジュールの概要説明) 2. バスケットボールの創成と特性 3. メンタル・トレーニング 4. ウォーミングアップ・クールダウン 5. フィジカル・トレーニング 6. ファンダメンタル <ol style="list-style-type: none"> (1) 身体を扱う技能 スタンス、フットワーク、アームワーク (2) ボールを扱う技能 ボールハンドリング、ドリブリング、パッシング、シューティング、リバウンディング 7. リード・アップ ゲーム (1) 8. リード・アップ ゲーム (2) 8. 1対1のオフェンス&ディフェンス 9. コンビネーション・オフェンス&ディフェンス 10. リード・アップ ゲーム (2) 11. ハーフコートゲーム 12. フルコートゲーム 13. ルールの理解と審判法 14. テスト 15. まとめ <p>◇ オリエンテーションでは更衣の必要はありません。</p>		